

ジャマイカ便り

第16号 2月

2024年度 青年海外協力隊 馬淵 萌子 青少年活動

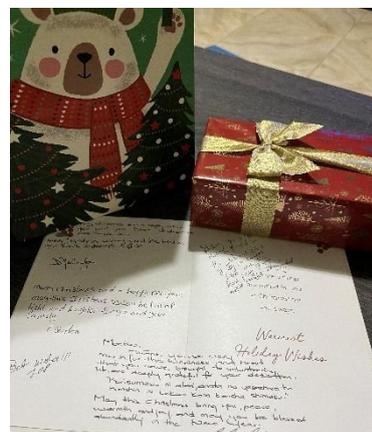
ワグワーン！（調子はどう？）岐阜県のみなさん、こんにちは。JICA 青年海外協力隊 2024年度 1次隊、青少年活動で中南米のジャマイカに派遣中の馬淵萌子（まぶち もえこ）です。年が明ける前、配属先の同僚たちから、クリスマスのお祝いや感謝の言葉が書かれた寄せ書きカードとプレゼントをいただきました。「あれ？私、もう帰国するんだっけ？」と一瞬思ってしまいましたが、まだジャマイカでの生活は半年続きます。ジャマイカでは、このように節目ごとにプレゼントを贈ることが多いのか、これまでも何度かサプライズをしてもらいました。そのたびに、人の温かさを感じ、心がほっとします。私も帰国するときには、日本らしい何かを同僚たちにプレゼントしたいなと思っています。今回は、8月の帰国までの残り半年間、ジャマイカでの生活の中で私が頑張りたいことについて紹介します。



配属先の年末パーティー



いつも面白い同僚



同僚らからのメッセージ

2026年 頑張りたいこと3選

★ 生徒たちとのコミュニケーションを増やす！

10月末のハリケーンの影響で登校できる生徒の数は減りましたが、その分、1人ひとりの生徒と会話をする機会は増えました。2024年、2025年は、私の語学力不足や活動に余裕がなかったこともあり、生徒とのコミュニケーションが十分に取れていなかったと感じています。今年は、少しでも多くの生徒とコミュニケーションを取る時間を意識的に作り、頑張っていきたいと思います。



★ 授業とイベントの質をあげる！

これまで、授業やイベントでは、生徒たちに教えたり、日本の文化を体験する場を提供する形が中心でした。しかし、今年は、生徒たち自身が主体的に取り組めるような授業づくりやイベントの企画をしていきたいと考えています。また、同僚からは、生徒だけでなく、日本に興味はあるものの、文化に触れられる機会がない地域住民の方々もいると教えてもらいました。配属先以外の場所でも、何かできることを探していきたいと思います。



★ 地域の人たちと積極的に関わる！

私は配属先までタクシーを利用しています。その往復で色々な人たちと毎日関わります。挨拶はいつも自分から積極的にするようにしていますが、挨拶をしてその後相手から話かけてきたら、答えるという感じなのですが、私からももっと話しかけて残りのジャマイカ生活、地域の人たちとの関わりを大切にしていきたいなと思います。



仲の良い地域の人たちの中には、同性であっても私のことを、「ハニー」「シュガーケーン」「ロリポップ」「スウィーティー」など、甘いお菓子の名前呼びかけてくる人もいます。私も真似してそのように挨拶を試してみたいですが、中々咄嗟には出てきませんね(笑)
名前の代わりにこんな愛称で呼び合うジャマイカの挨拶文化は、とても面白いと感じています。次回は、このような個人的に面白いと思うジャマイカの文化について紹介したいと思います。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。リックルモア！（またね！）